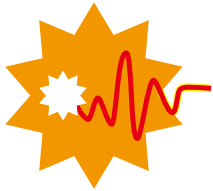


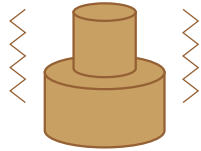
地震災害

家具等の転倒防止、家の耐震対策など安全を確保しておきましょう。

緊急地震速報の流れ



地震発生！



地震計

震源近くの地震計で地震波をキャッチ！



気象庁

震源や規模、予想される揺れの強さ（震度）等を自動計算し、緊急地震速報を発表！



テレビ・ラジオなど

地震による強い揺れが始まる前に素早くお知らせ！

《緊急地震速報》

地震波が2点以上の地震観測点で観測され、最大震度が5弱以上と予想された場合に、震度4以上が予想される地域に発表します。

地震に備える

● 家具類の転倒・落下・移動防止対策をしておきましょう。



- ・ケガの防止や避難に支障のないように家具を配置しておきましょう。
- ・家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておきましょう。

● ケガの防止対策をしておきましょう。



- ・食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておきましょう。
- ・停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておきましょう。
- ・散乱物でケガをしないようにスリッパやスニーカーなどをリビングや寝室などの身近な場所に準備しておきましょう。

● 家屋や塀の強度を確認しておきましょう。



- ・家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておきましょう。
- ・ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないよう補強しておきましょう。

地震発生時の時間経過と行動

地震が発生した場合、時間の経過に伴い皆さんのとるべき行動が変わってきます。

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、まず身を守り家族の身の安全を優先し、揺れがおさまるまで待ちましょう。

なお、普段から家の中の安全チェックを行い、住宅用火災警報器も設置しておきましょう。

地震発生

● まず、身の安全

- ・ 家族への声かけ。
- ・ 机の下に入る。
- ・ クッション、雑誌などで頭を保護する。
- ・ 家具から離れる。
- ・ ガラス面から離れる。



2分
〜
5分

● 大揺れがおさまった。落ち着いて行動

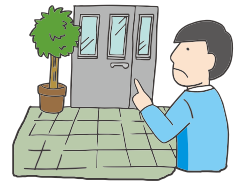
- ・ 台所やストーブなど火の始末をする。
- ・ 避難の時は、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉める。
- ・ 危険なので、あわてて外に飛び出さない。



5分
〜
10分

● 家族の身の安全を確認、確保

- ・ 津波警報発表時は、すぐに危険な区域から避難する。
- ・ 家族の安全の確認、確保をする。
- ・ 災害情報、避難情報入手する。
- ・ 避難のための出口の確保をする。
- ・ ガラス片や転倒家具に注意する。



10分
〜
半日

● 隣近所の安否確認、助け合い(可能な場合)

- ・ 余震による家屋の倒壊や津波の危険があるため、津波警報が解除または自宅の安全が確認できるまでは、屋外の安全な場所へ避難する。
- ・ 倒壊家屋や転倒家具の下敷きになっている人の救出をする。
- ・ 火災発生時の消火活動をする。
- ・ ケガ人の救護をする。



半日
〜
3日

● 2次災害に気をつける

- ・ 地震発生後数日間は、崩れそうな建物や河川・海・崖などに近づかないようにする。
- ・ 水道、ガス、電気、電話等ライフラインをはじめ、食料の供給が途絶える可能性があるため、最低でも3日分、できれば1週間分は、家族でしのげるように、生活必需品や非常用品を備えておく。